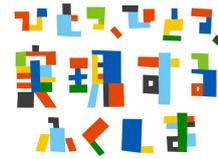


主要な農作物の生育情報

令和4年度 第4号

(令和4年7月11日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水 稲（農業総合センターの作柄解析試験における7月5日現在の生育概況）

草丈は、すべての調査場所、品種で平年より長くなっています。茎数は、本部で平年より少なく、会津地域研究所と浜地域研究所は平年並からやや少なくなっています。主稈葉数は、全ての調査場所で平年並です。葉色は、本部で平年並からやや淡く、会津地域研究所で淡く、浜地域研究所でコシヒカリはやや淡く、ひとめぼれと天のつぶは濃い状況です。

表1 水稲の生育状況

| 調査場所 | 品 種 | 移植期 (月.日) | 7月5日調査 | | | |
|----------------|------------|--------------|-------------|---------------------------|-------------|------------------|
| | | | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 主稈葉数 (枚) | 葉色 (SPAD502値) |
| 本 部 | コシヒカリ | 5.16 | 61.9 (121%) | 599 (86%) | 9.8 (-0.1) | 36.2 (-1.1) |
| | ひとめぼれ | 5.16 | 58.5 (120%) | 560 (81%) | 9.6 (-0.3) | 38.9 (-0.3) |
| | 天のつぶ | 5.16 | 63.4 (125%) | 539 (90%) | 9.2 (-0.3) | 39.1 (-1.3) |
| 会津地域 研 究 所 | コシヒカリ(参考値) | 5.19 | (63.9) | (482) | — | (39.0) |
| | ひとめぼれ | 5.19 | 61.0 (106%) | 734 (97%) | 10.8 (+0.2) | 39.3 (-2.7) |
| | 天のつぶ | 5.19 | 64.1 (110%) | 615 (92%) | 9.9 (-0.1) | 40.7 (-2.5) |
| 浜 地 域 研 究 所 | コシヒカリ | 5.10 | 68.2 (112%) | 726 (97%) | 10.1 (0.0) | 36.0 (-0.7) |
| | ひとめぼれ | 5.10 | 65.8 (109%) | 799 (101%) | 10.2 (0.0) | 40.8 (+1.5) |
| | 天のつぶ | 5.10 | 66.6 (111%) | 641 (91%) | 9.8 (+0.2) | 42.9 (+1.5) |

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2017~2021年の平均値)との比較を表し、草丈、茎数は前5年平均に対する比率、主稈葉数、葉色は、前5年平均との差を表す。

注3) 会津地域研究所のコシヒカリは、試験に不備があったため欠測。ほぼ同様の条件で行った別試験のデータを参考値として掲載

※下線部は令和4年8月4日に修正

2 大 豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

標播の出芽は良好です。

表2 大豆の生育状況

| 調査場所 | 品 種 | 播種 時期 | 播種期 (月.日) | 出芽期 (月.日) | 出芽日数 (日) |
|----------------|-------|----------|--------------|--------------|-------------|
| 本 部 | タチナガハ | 標播 | 6. 1 (+1) | 6.14 (+2) | 13 (+1) |
| 会津地域 研 究 所 | あやこがね | 標播 | 6. 1 (+1) | 6. 9 (-1) | 8 (-2) |
| 浜 地 域 研 究 所 | タチナガハ | 標播 | 6.14 (+5) | 6.23 (+4) | 9 (-1) |

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市。

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2017~2021年の平均値)との差を表す。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

県北地方の5月上旬定植の雨よけ栽培は6月中旬から、県北・県中地方の5月下旬定植の露地栽培は6月下旬から収穫が始まっています。病害虫については、アザミウマ類の発生が見られています。ひょう害があったほ場では草勢回復に努めています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月定植の作型では、6月中旬から収穫が始まり、現在7～8段花房が開花しています。また、南会津地方の5月下旬定植の作型では、7月中旬から収穫開始を見込んでいます。

3 さやいんげん

県中地方、会津地方の露地栽培では、6月下旬から収穫が始まっています。着莢は安定しており、7月中旬以降出荷量が増加する見込みです。

4 夏秋ピーマン

県中地方のトンネル栽培では、6月下旬から収穫が始まっています。病害虫については、一部のほ場でアブラムシ類の発生が確認されています。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所における7月1日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が52.4mmで平年比108%、側径が51.5mmで平年比109%、「ゆうぞら」は縦径が51.7mmで平年比108%、側径が45.4mmで平年比108%と、両品種とも平年よりやや大きい状況です。満開後日数で比較すると、「あかつき」は平年よりやや大きく、「ゆうぞら」は平年より大きくなっています。

平均気温に基づくDVRモデルによる「あかつき」の発育予測では、今後の気温が平年並に推移した場合、本年の収穫開始日は7月30日ごろ、収穫盛期日は8月3日ごろで平年より1日早い見込みです。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が38.0mmで平年比112%、横径が44.0mmで平年比109%、「豊水」は縦径が38.9mmで平年比111%、横径が41.9mmで平年比110%と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種ともに平年より大きくなっています。

平均気温と降水量に基づくDVRモデルによる「幸水」の発育予測では、裂果期は近日中の見込みです。また、収穫盛期日の予測は8月26日ごろで平年より3日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が53.7mmで平年比105%、横径が58.7mmで平年比103%、「ふじ」は縦径が47.9mmで平年比106%、横径が48.7mmで平年比101%と、両品種ともに平年並です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年よりやや小さくなっています。

【花き】

1 キク類

6月は、1～3半旬の気温が低く、4～6半旬の降水量が少なかったことから、8月咲きは、草丈は平年並からやや短くなっています。また、9月咲きの草丈は、平年より短くなっています。

病害は、白さび病、虫害はハモグリバエ類、アザミウマ類、ハダニ類などの発生が散見されています。

2 リンドウ

極早生品種は、6月下旬から出荷が始まり、平年より1週間程度遅くなっています。早生から中晩生種は、草丈は平年並からやや長く、節数は平年並となっています。

病害は葉枯病、黒斑病、虫害はハダニ類、リンドウホソハマキ、アザミウマ類などの発生が散見されています。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草の収穫作業が終了し、収量・品質ともに平年並です。2番草は、再生期にあり、平年並の生育です。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>